

令和5年度 事業計画書

学校法人加茂暁星学園 法人

設置する 学校・学部・学 科	新潟経営大学	経営情報学部 観光経営学部	経営情報学科 観光経営学科	スポーツマネジメント学科
	新潟中央短期大学	幼児教育科		
	加茂暁星高等学校	普通科	看護科	
役員組織等 ()は前年度	理 事	監 事	評 議 員	備 考
	12(15)	2(2)	28(31)	

学園の使命「実践的教育と地域に根差した研究・地域貢献活動を通じ、地域の発展に貢献する人材の育成をする。」を果たすため、法人の財政及び経営状況を的確に把握し問題点の解決に努める。また、学生・生徒に魅力ある教育内容の充実・強化を図る。

1 中期経営計画の進捗状況の確認と実行

- ① 中期経営計画の進行管理
- ② 少子化の状況を見据えた学生・生徒の確保と定員充足
- ③ 安定した経営基盤の確立
- ④ 耐震等踏まえ校舎建築の検討
- ⑤ 新たな給与・人事システムの在り方について検討

2 管理・運営の強化

- ① 法人事務局体制の強化
- ② 法人と各部門との連携強化
- ③ 諸規程の見直しと統一的な運用の検討
- ④ 私学法改正への対応準備

3 法人が設置する学校間の連携強化

- ① スポーツを基軸とした高校・短大・大学の連携強化
- ② 系列校からの入学者増加対応策の検討
- ③ 地域からの理解促進するため、大学・短大・高校の共通行事等の検討

学校法人加茂暁星学園

部 門 名	新潟経営大学								
部門内容 () 内は前年度	学部・学科名等		入学定員	収容定員	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
	経営情報学部	経営情報学科	120 3 年次編入 15	720	122 (77)	74 (71)	71 (91)	96 (113)	589 (547)
		スポーツマネ	50		79 (49)	47 (47)	45 (51)	55 (46)	
		ジメント学科	3 年次編入 5						
	観光経営学部		—	60	0 (0)	0 (0)	0 (24)	24 (23)	24 (47)
観光経営学科									
教育目標	I 建学の精神 【業学一如：ぎょうがくいちによ】 「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである」（創設者 西村大串） 新潟経営大学は平成 6 年(1994 年 4 月)、地域住民の新大学設立の強い要望により、 県および県央 18 市町村の支援を受けて設立された公私協力方式の大学です。地域の発展を考え、地域のために貢献できる人材を育てます。								
	II 教育目標 なりたい自分になれる大学 ― 学生成長力 No.1 の大学をめざす ― 学生の個性と潜在能力を引き出し、学生がなりたい自分になれるための支援を行います。								
	【教育・研究における重点項目】 ○新たな情報化社会にたくましく生き抜く主体性と創造力のある学生を育成する。 ○地域の課題を解決し、地域の活性化に資することを中心とする独創的な研究活動に取り組む。								
	【地域貢献における重点項目】 ○地域に根差す大学の使命をもち、大学の知見を地域に還元すると共に地域の活性化のために実践する。 ○産官学連携・高大連携等地域とのつながりを深め、新たな教育・新たな地域社会の創造へ挑戦する。								
学生・生徒確保 の見通し	令和 5 年 3 月 22 日現在の入学手続者数は 196 人である。3 月中の選抜試験を受けて、引き続き、入学手続者数の確保に努める。								

当初予算概要	I 基本方針 1 情勢分析 本学の財務状況については、平成 27 年度以降、赤字決算が続いている。入学者数も平成 24 年度以降、募集定員を下回る状況が続いている。この結果として、収入の大きな柱としての学生納付金の減少を招き、厳しい財政運営を強いられてきた。 大学では、新潟経営大学中期計画（2020～2024 年度）を策定し、計画期間内に収入と支出のバランス（赤字ゼロ）を達成することを目標としている。そのため、徹底した経費見直しによる支出削減、入学者確保による収入の増加を目指しているところである。 2 予算の全体枠の設定 収入面の大宗である学生納付金の収入見込みについては、中期計画期間内に募集定員並みに入学者を確保するとの想定で収入を見積もることとし、各種補助金等と合わせて、予算の全体枠を設定した。 支出面では、予算単位全体で令和 4 年度当初予算比マイナス 10%の金額の枠内で予算見積もりを行い、事業計画を作成した。 II 主な重点施策 1 入学者確保に向けた新たな受け皿づくり 少子化が進む中で、今後の入学者確保に向けて、本学の強みを活かした新たな受け皿づくりを推進する。女子サッカー部など新たな強化指定部を創設するとともに、社会人入学制度、留学生確保の再開などの可能性について検討する。 2 就職指導の充実としてのキャリア支援室の移設 希望者就職率 100%を着実に達成するため、就職指導環境の改善を図ることとし、2 号館にキャリア支援室を移設する
中期的な計画に基づく施策展開	I 新潟経営大学中期計画との整合性の確保 計画期間は、2020 年度～2024 年度とし、令和 3 年 3 月に策定されたものである。 ・ 募集定員充足率 100% ・ 収容定員充足率 100% ・ 希望者就職決定率 100% を目標に各種施策を展開することとし、令和 5 年度予算の重点施策については、計画のカテゴリーのいずれかの区分に分類されるよう事業計画を位置づけた。 【カテゴリー 1】教育力の強化 【カテゴリー 2】学生支援の強化 【カテゴリー 3】地域貢献・産学官連携の推進 【カテゴリー 4】高大連携 【カテゴリー 5】研究力の強化 【カテゴリー 6】入学者確保

【カテゴリー 7】広報戦略の強化

【カテゴリー 8】教職員のモチベーションの推進

【カテゴリー 9】財政基盤の強化

【カテゴリー10】スポーツ資源の活用

このうち、【カテゴリー 9】財政基盤の強化については、最終年度の令和 6 年度に、収入と支出のバランス（赤字ゼロ）を達成することを目標とし、令和 5 年度に取り組む事項は以下のとおりである。

1 施設使用料

同種施設とのバランスで、既存使用料が過少となっていないかなど見直しを行うこと、また、新たな収入源として検討すべき事項があれば積極的に進める。

（検討例）各種試験会場としての講義室貸出の促進

2 資金の獲得

私立大学等経常費補助金については、最低限、現行水準を維持するとともに、減額要因の解消に努める。私立大学等改革総合支援事業については、引き続き採択を目指し、外部科学研究費についても、更なる採択増加を目指す。また、県・市町村からの補助金についても引き続き、その確保に取り組む。社会人や地域住民を対象とした有料講座の開設を検討する。

3 経費の見直し

収入状況に応じた予算編成シーリングの実施を、当初予算、補正予算いずれにおいても、行う。各種委託業務については、精査のうえ実施し、必要に応じて、費用対効果を検証する。

4 奨学金の見直し

給費奨学金等については、その実績と効果を検証し、必要に応じて見直しを行う。

令和5年度 部門別事業計画書

学校法人加茂暁星学園

部 門 名	新潟中央短期大学					
部門内容 () 内は前年度	学部・学科名等	入学定員	収容定員	1 年	2 年	合計
	幼児教育科	1 年生 7 5 2 年生 1 0 0	1 7 5	7 9 (75)	7 5 (69)	1 5 4 (144)
教育目標	「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」の育成 ○主体性を持ち、多様な人々と協働して生きていく態度・力を育てる。 ○ミュージカル、出前保育といった実践的学びの場を重視し、創造的な体験を通じて、主体性・協働性・問題を共に解決する力を養う。 こうした本学における学びを実践に生かし、さらに、実践からも学ぶ「子どものために 子どもと共に 学びつづける保育者」を育成する					
学生・生徒確保 の見通し	令和5年度入学手続き予定者数：79人前後 ※3月1日（水）までの入学手続き者数：81人 ※内17人は納付金免除者（特別給付奨学生3人、スポーツ特待生2人、系列校減免6人、卒業生等の子減免6人） ※入学辞退手続締切日：3月31日（金）					
教育・研究に関する最重点事業	○令和4年度から導入したチューター制とハウス制を充実させ、教育内容のさらなる向上を目指す ○チューター制：学生に寄り添い、学生を大切にする大学をめざし、教職員一体となった学生の育成体制を強化する ○ハウス制：学生のリーダーシップ、パートナーシップ育成とコミュニケーション能力の向上を目指す ○学びを実践に生かし、実践から学ぶことを推進し、現場経験を持つ実務家教員の充実 ○保育現場に即した研究の推進					
施設・設備に関する最重点事業	○財政状況を考慮し、大学と協力した体制により、通学環境および学習環境の整備強化、そして、施設設備の維持管理を行う ○中期経営計画および校舎等における耐震化完了計画に基づき、旧校舎の耐震整備・維持に関する経費について検証していく					
地域貢献に関する最重点事業	○現場で活躍する保育者と大学の連携を強化し、課題を共有し合い、共に学ぶ保育者支援事業の促進 ○学生による出前保育等のボランティア活動を促進し、地域に喜ばれ実践的に学べる活動の強化 (1) 田上町との連携協定に基づく連携及び加茂市、新潟経営大学との連携協定の推進 (2) 幼稚園、保育園への出前保育の推進 (3) 加茂市、田上町と連携した「子どもの発達やこころに関する相談」の実施					

中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況	中期的な計画として、本学は「募集定員の確保」及び「財政基盤の健全化」を掲げている。 1. 募集定員の確保について 〔進捗・達成状況〕 令和5年度入学生から入学定員を75人に変更し、入学生の確保は達成できそうである。 〔中期的な計画〕 募集定員の確保は、国の「高等教育の修学支援新制度」にも大きく影響を与えるため、引き続き募集定員の確保に努める。また、スポーツによる学園全体の学生・生徒確保に向けた取り組みにおいても、大学の強化指定部「女子サッカー部」と連携して学生を確保していく。 2. 財政基盤の健全化について 〔進捗・達成状況〕 ○入学定員変更により、経常費補助金の減額率の大幅な減少を抑えた ○令和4年7月より学園全体における人件費削減を実施 ○内部質保証に努め、経常費補助金の増減率においても昨年度よりさらにアップ（＋5％）することができ、僅かではあるが、外部資金（補助金）の増加を達成 〔中期的な計画〕 上記のとおり財政基盤の健全化に向けて取り組んだが、入学者減少や物価高の上昇（特に電気代）の影響が非常に大きく、健全化には至っていない。財政基盤の健全化に向けては、経費のさらなる精査や学生確保がキーとなってくるため、学長を中心に各部署等と連携しながら創意工夫した広報活動等の強化に取り組んでいく。また、学生納付金の値上げについても検討していく。
-----------------------------	--

部 門 名	加 茂 暁 星 高 等 学 校								
部門内容 () 内は前年 度	学部・学科名等	入学定員	収容定員	1 年	2 年	3 年	専攻科		合計
							1 年	2 年	
	普通科	160 (160)	480(480)	94 (90)	92 (78)	73 (103)			259 (271)
	看護科	60 (60)	360(380)	35 (40)	49 (36)	32 (38)	35 (42)	41 (38)	189 (194)
	計	220 (220)	840(860)	129 (130)	141 (114)	105 (141)	35 (42)	41 (38)	451 (465)
教 育 目 標	『業学一如』 四弘誓願の理念を具現化すること 生徒にあっては 1. 利他の心 2. 自己研鑽 3. 協調性 教員にあっては 1. 価値の創造 2. 自己研鑽 3. 同僚性								
学生・生徒確保 の見通し	令和 5 年 3 月 14 日時点での入学手続者は 105 人。普通科 75 人、看護科 30 人。普通科 のコース別の人数は確定していない。								
教育研究に関す る最重点事業	・ 人事評価制度を導入することにより教育の質の向上をはかる。 ・ バイオ実験や加茂市と連携した探究活動 ・ Google for Educationを積極的に活用した指導を更に進める。 ・ 各クラスでの普通コース基礎学力D3の割合を削減。								
施設・設備に関す る最重点事業	・ 危険箇所を速やかに無くし、安心・安全な環境の整備をする。								
地域貢献に関す る最重点事業	・ 看護科主体で実施し高評価を得ている「まちの保健室」の継続的实施。 ・ 総合コースの活動としての「ほしかつ（生徒の学びと地域コミュニティーを連携させる 活動）」。								
中期的な計画	教 学 ……平均偏差値と上位生徒の偏差値を上げる。授業アンケートの各項目の点数 を上げる。 人 事 ……生徒募集に繋げられる人材を育てる、人事制度の構築。 施 設 ……現在の校舎の方向性を検討。耐震化計画の立案。 財務等 ……引き続きプライマリーバランス 0 に向け収支の改善につとめる。								